

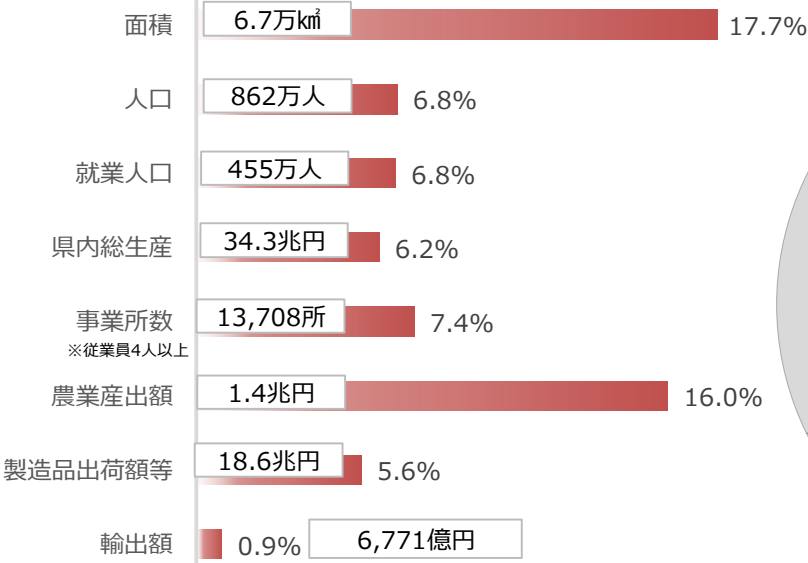
# 最近の東北財務局管内の経済情勢等

- I. 東北財務局管内経済構造
- II. 最近の東北財務局管内の経済情勢
- III. 新型コロナウイルス感染症による企業活動への影響

令和3年8月  
東北財務局

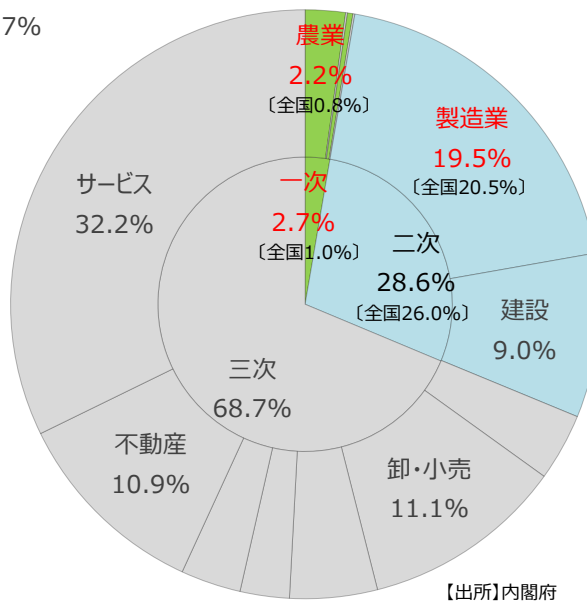
# I. 東北財務局管内経済構造

## (1) 経済規模 (全国ウエイト)



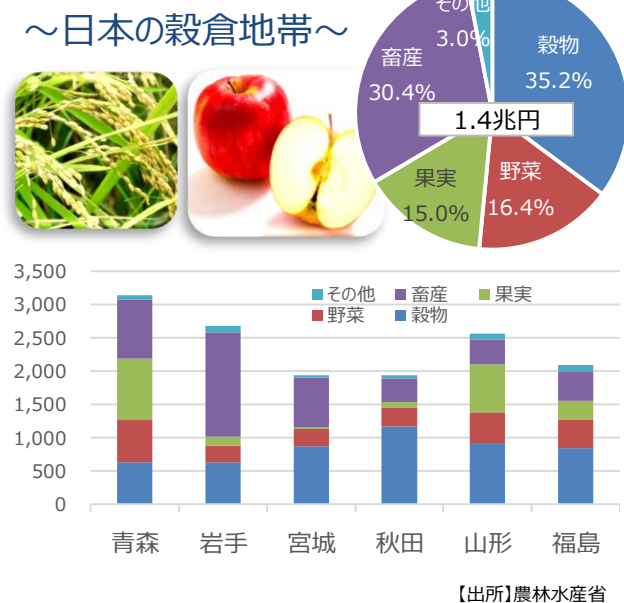
【出所】国土地理院、総務省、厚生労働省、内閣府、経済産業省、農林水産省、財務省

## (2) 経済構造

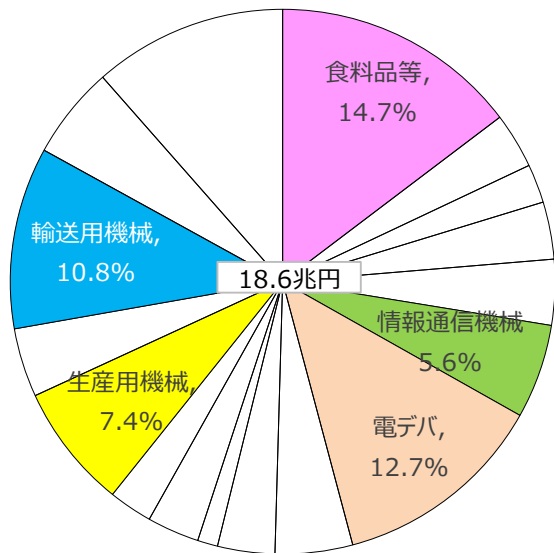


【出所】内閣府

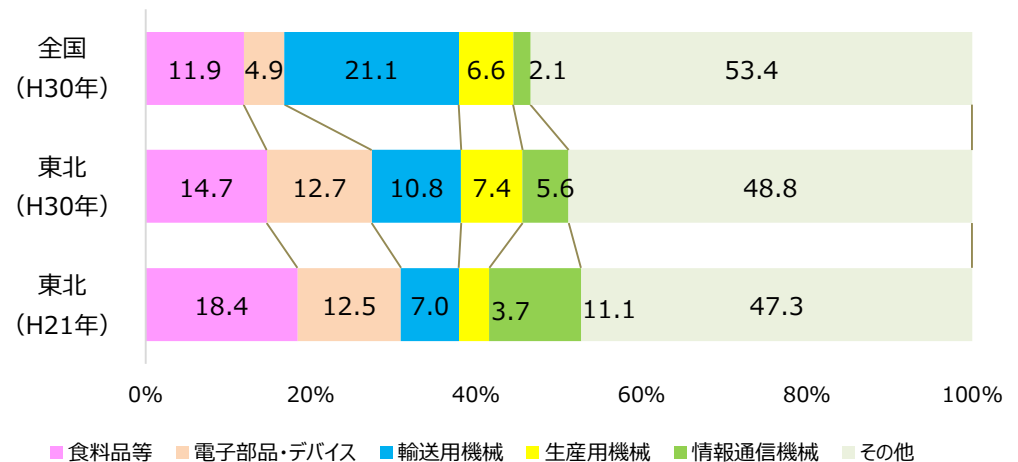
## (3) 農業産出額



## (4) 製造品出荷額等の構成比




## 〔産業別構造における全国との比較等〕








【出所】経済産業省

## Ⅱ. 最近の東北財務局管内の経済情勢

	前回（3年4月判断）	今回（3年7月判断）	前回比較	判断の要点
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しつつある		<p>個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。</p> <p>生産活動は、輸送機械が半導体不足の影響により減産の動きがみられるものの、電子部品・デバイスが通信機器向けなどで好調となっているなど、持ち直している。</p> <p>雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。</p>

### 〔先行き〕

先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染の動向が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。

	前回（3年4月判断）	今回（3年7月判断）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	
生産活動	持ち直している	持ち直している	
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	
設備投資	2年度は減少見込み	3年度は増加見込み	
住宅建設	前年を下回っている	前年並みとなっている	

※令和3年7月判断は、前回4月判断以降、足下（7月末）の状況までを含めた期間で判断している。

# 個人消費

## 個人消費

「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している」

- スーパー販売は、飲食料品が堅調となっており、前年並みとなっている。
- 百貨店販売は、臨時休業等があった昨年の反動等により、前年を上回っている。

(主なヒアリング結果)

《スーパー》

- 内食・巣ごもり需要が継続しており、売上げは堅調に推移している。刺身が好調なほか、家でのちょっとしたぜいたく需要により国産牛が好調。自身で調理する機会が減少傾向にあり、総菜も回復している。

【スーパー・大企業】

- 引き続き内食需要から多くの品目で好調となっており、足下でもまとめ買いがみられている。

【スーパー・大企業】

《百貨店》

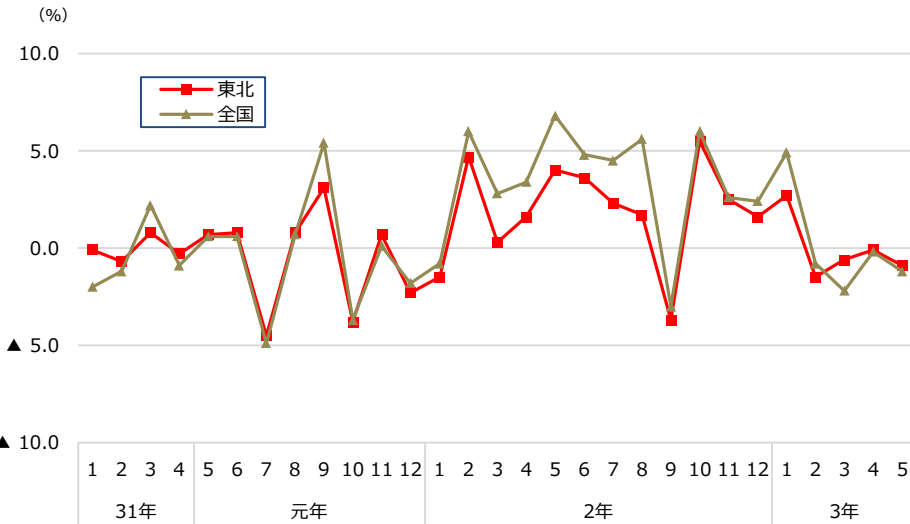
- 昨年の反動で前年を上回っているが、一昨年比では厳しい状況。ただし、昨年来の在宅時間の増加により食料品や食器、寝具などは好調。

【百貨店】

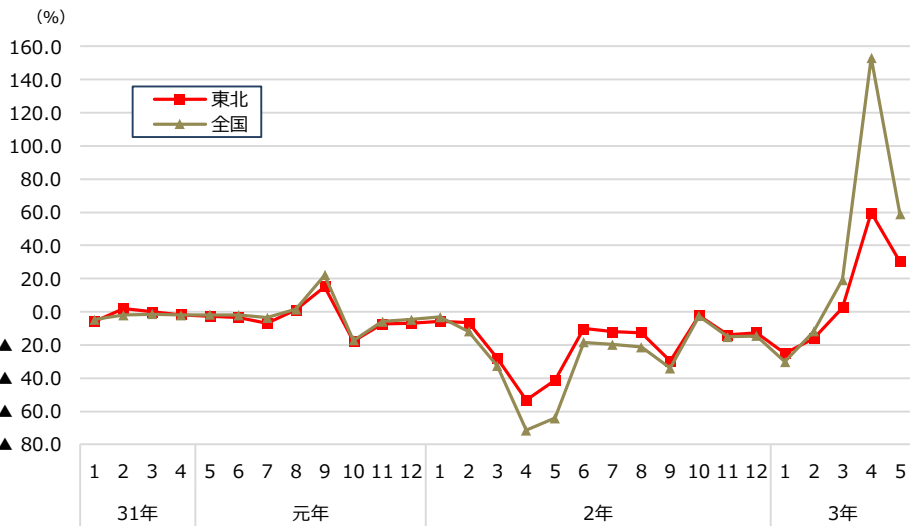
- 昨年の反動で前年を上回っているが、一昨年水準にはまだまだ及んでいない。ブランド品やウォッチ、ジュエリーが好調な一方、外出機会の減少等により衣料品は厳しい状況が続いている。

【百貨店】

【スーパー販売額（前年比）】 (注) 全店舗ベース

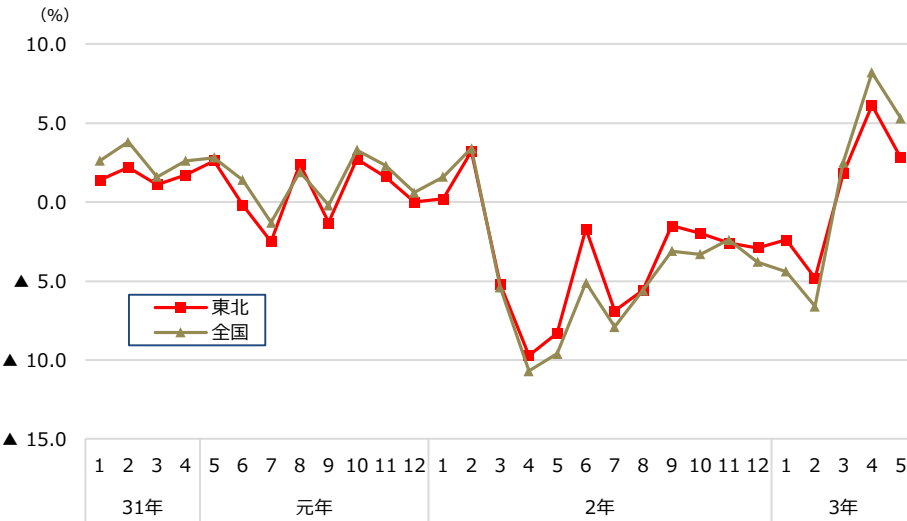


【百貨店販売額（前年比）】 (注) 全店舗ベース

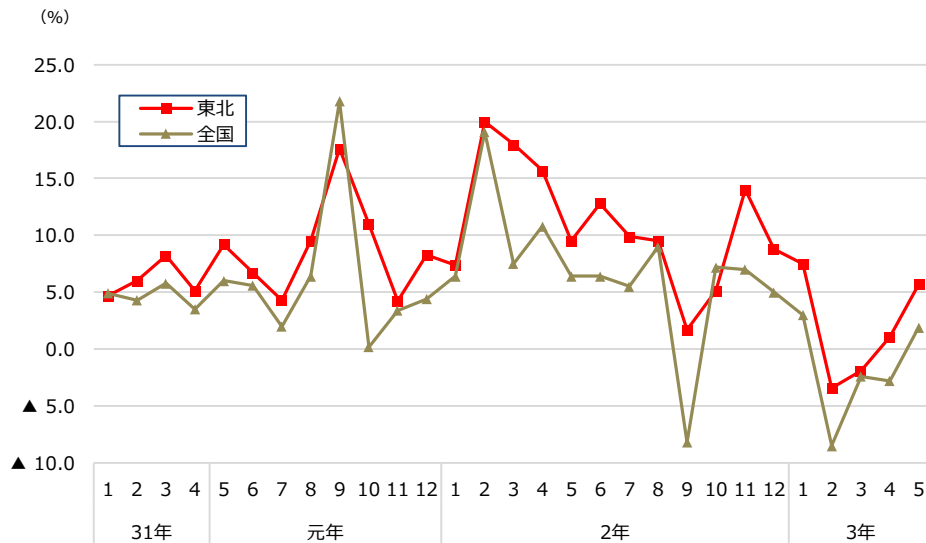


# 個人消費

【コンビニエンスストア販売額（前年比）】（注）全店舗ベース



【ドラッグストア販売額（前年比）】（注）全店舗ベース



## 個人消費

「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している」

- コンビニエンスストア販売は、冷凍食品等が好調となっていることから、前年を上回っている。
- ドラッグストア販売は新規出店効果のほか、衛生用品等が底堅く推移していることから、前年を上回っている。

（主なヒアリング結果）

≪コンビニエンスストア≫

- 中食需要が高まっており、日持ちがする商品として冷凍食品等が好調となっている。

【コンビニエンスストア・大企業】

- 在宅勤務増加等から、冷凍食品やデザートが引き続き好調となっているほか、昨年オフィス・繁華街で来店客数が減少した反動から、前年を上回っている。

【コンビニエンスストア・大企業】

≪ドラッグストア≫

- マスク等の衛生用品が継続して好調なほか、新規出店とともに、売上は増加している。

【ドラッグストア・大企業】

- 在宅勤務やコロナ自粛による運動不足解消の動きから、スポーツ飲料や湿布が売れている。

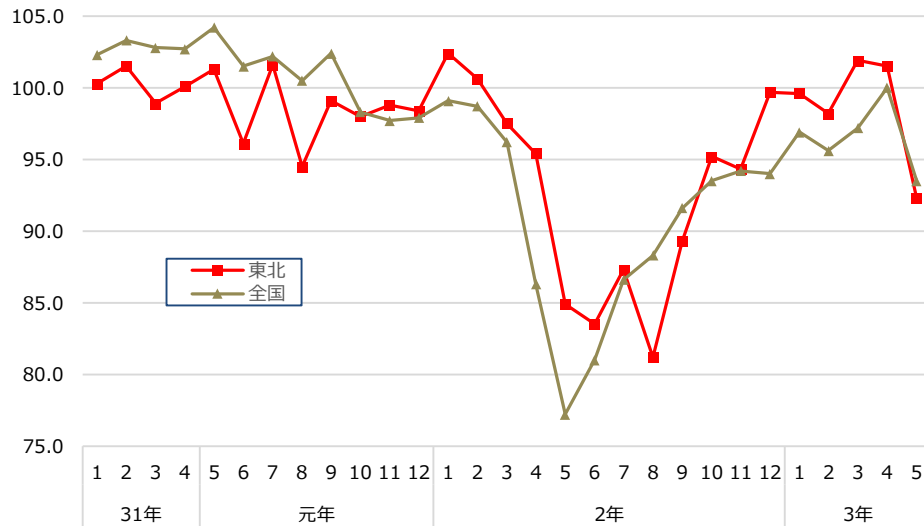
【ドラッグストア・大企業】



# 生産活動

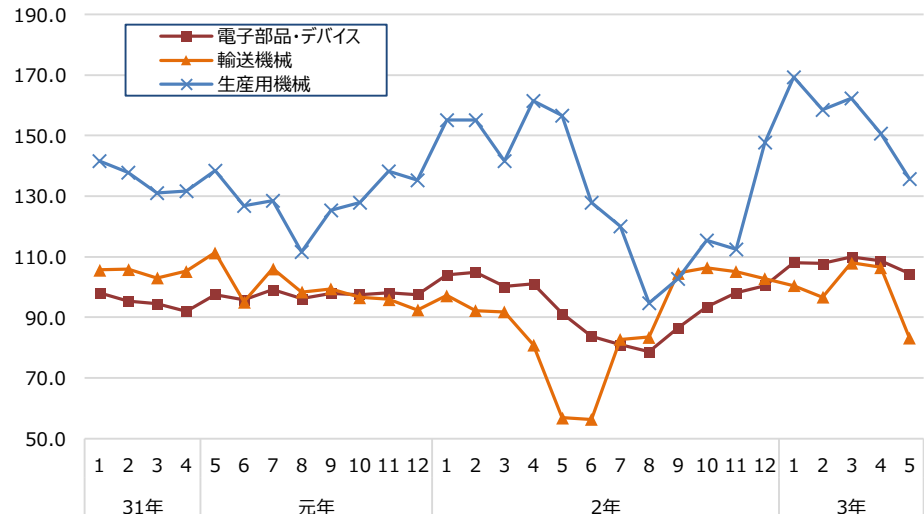
## 〔鉱工業生産指数（季節調整済）〕

(27年=100)



## 〔鉱工業生産指数（東北・業種別・季節調整済）〕

(27年=100)



【出所】経済産業省、東北経済産業局

## 生産活動

### 「持ち直している」

- 電子部品・デバイスは、自動車向けで半導体不足による減産の影響がみられるものの、通信機器向けなどで好調となっている。
- 輸送機械は、世界的な半導体不足の影響による減産の動きがみられる。
- 生産用機械は、海外の半導体メーカーにおける設備投資需要を背景に高水準となっている。

(主なヒアリング結果)

### 《電子部品・デバイス》

- 自動車向けについては半導体不足による減産の影響がみられるものの、5G基地局向けが非常に好調であり、休日返上で生産を続けている状況。  
【電子部品・デバイス・中堅企業】
- スマートフォン向けやPC向けはICT関連需要が旺盛なことを背景に引き続き受注が好調となっている。  
【電子部品・デバイス・中堅企業】

### 《輸送機械》

- 好調を維持する乗用車について、受注残を抱えている状況であるが、半導体の供給不足から工場の生産稼働調整を行った。  
【輸送機械・大企業】
- 半導体不足の影響を受け、完成車工場が一部の生産ラインを止め、生産調整を実施していることから、受注が減少している。  
【輸送機械・中小企業】

### 《生産用機械》

- 世界的な半導体需要の増加により、海外メーカーによる設備投資の動きがみられ、生産量も高水準となっている。  
【生産用機械・中堅企業】

# 雇用情勢

## 雇用情勢

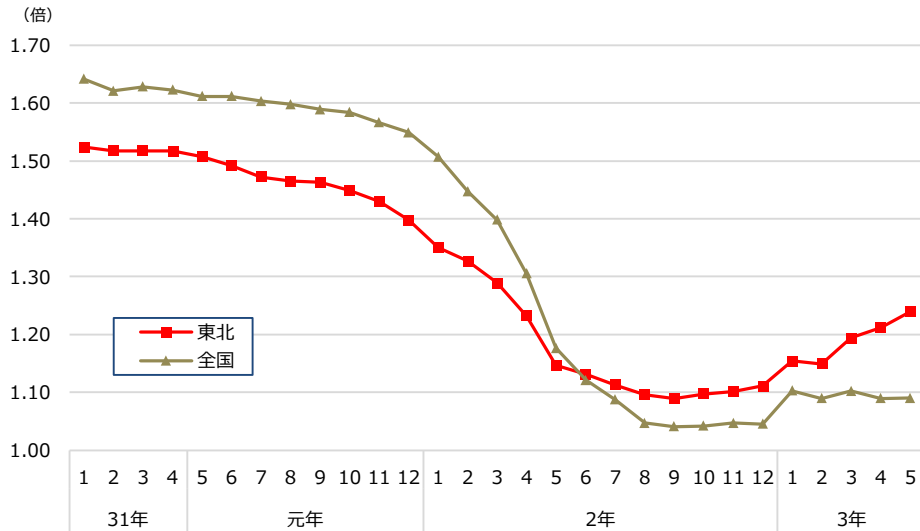
「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある」

○ 雇用情勢は、新規求人数が製造業を中心に増加し、有効求人倍率も上昇している。

(主なヒアリング結果)

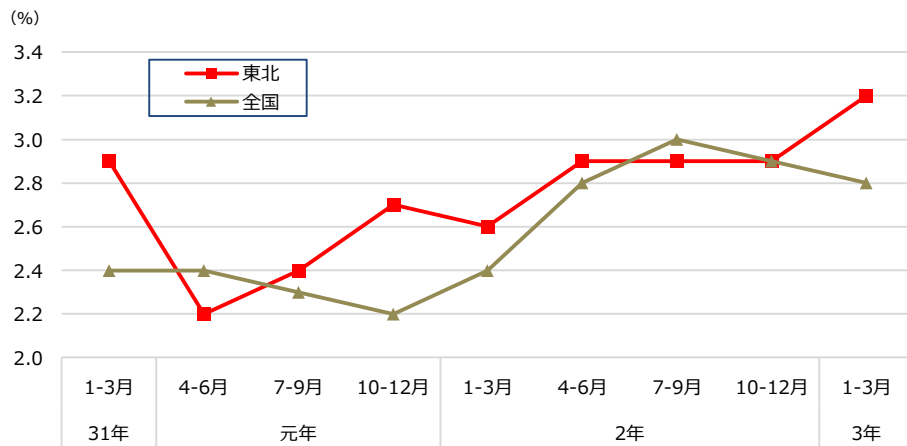
- 求人は企業のポストコロナに向けた人材確保の動きがあり増加している。  
【公的機関】
- 製造業などの新規求人数が増加しているほか、飲食・宿泊業などではアフターコロナを見据えた求人も出始めていることなどから、有効求人倍率は上昇傾向にある。  
【公的機関】
- 求人は全体的に増加しており、特に若者に対する採用意欲が高い。  
【公的機関】
- 市場全体の求人が増加しており、今年中にコロナ禍前の人手不足の状態に戻る。  
【人材派遣・中堅企業】
- 生産現場では、技術職の不足が依然として続いており、即戦力となる技術職の中途採用のほか、営業職の中途採用にも注力している。  
【業務用機械・中小企業】
- 生産がフル稼働となっており人員不足となっている。契約社員については、積極的に正社員登用していくほか、契約更新を行うなど、続けて雇用を維持していきたい。  
【情報通信機械・中堅企業】

## 〔有効求人倍率（季節調整値）〕



【出所】厚生労働省

## 〔完全失業率（原数値）〕

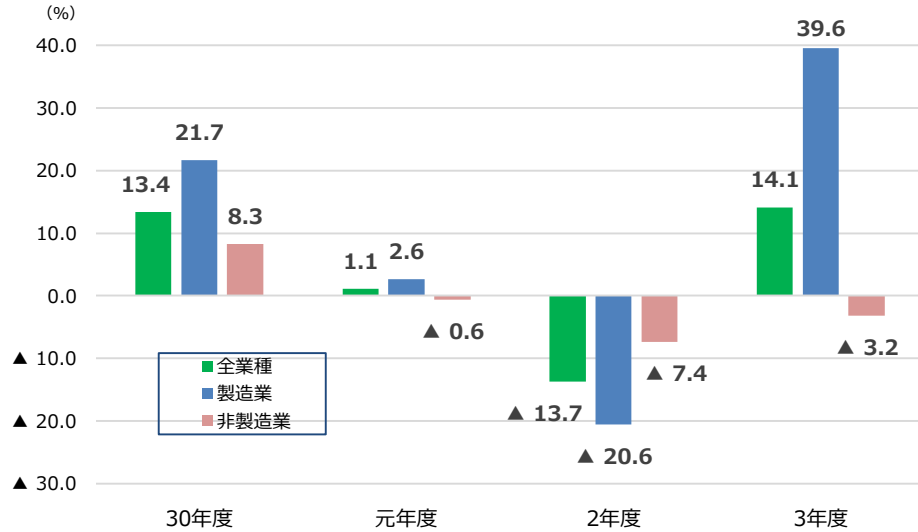


【出所】総務省



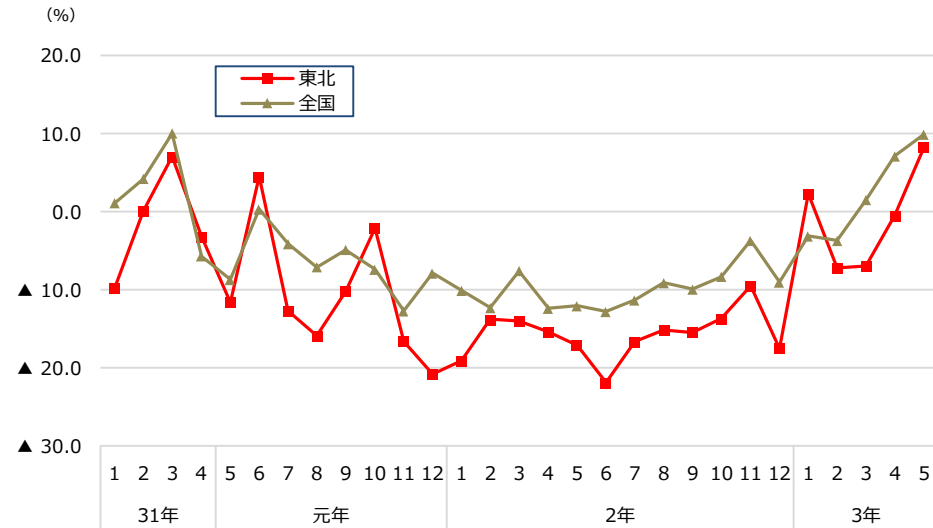
# 設備投資 ・ 住宅建設

## 〔設備投資計画（前年度比）〕



【出所】東北財務局

## 〔新設住宅着工戸数（前年比）〕



【出所】国土交通省

## 設備投資 「3年度は増加見込み」

- 製造業は、パルプ・紙・紙加工品等で減少見込みとなっているものの、情報通信機械、非鉄金属等で増加見込みとなっていることから、全体では増加見込みとなっている。
- 非製造業は、その他のサービス等で増加見込みとなっているものの、小売、電気・ガス・水道等で減少見込みとなっていることから、全体では減少見込みとなっている。

（主なヒアリング結果）

- 半導体関連の生産能力増強のため、設備投資を行う予定。  
【情報通信機械・中堅企業】
- 前年度に新規出店や店舗改装を行った反動により、前年度を下回る見込み。  
【小売・大企業】

## 住宅建設 「前年並みとなっている」

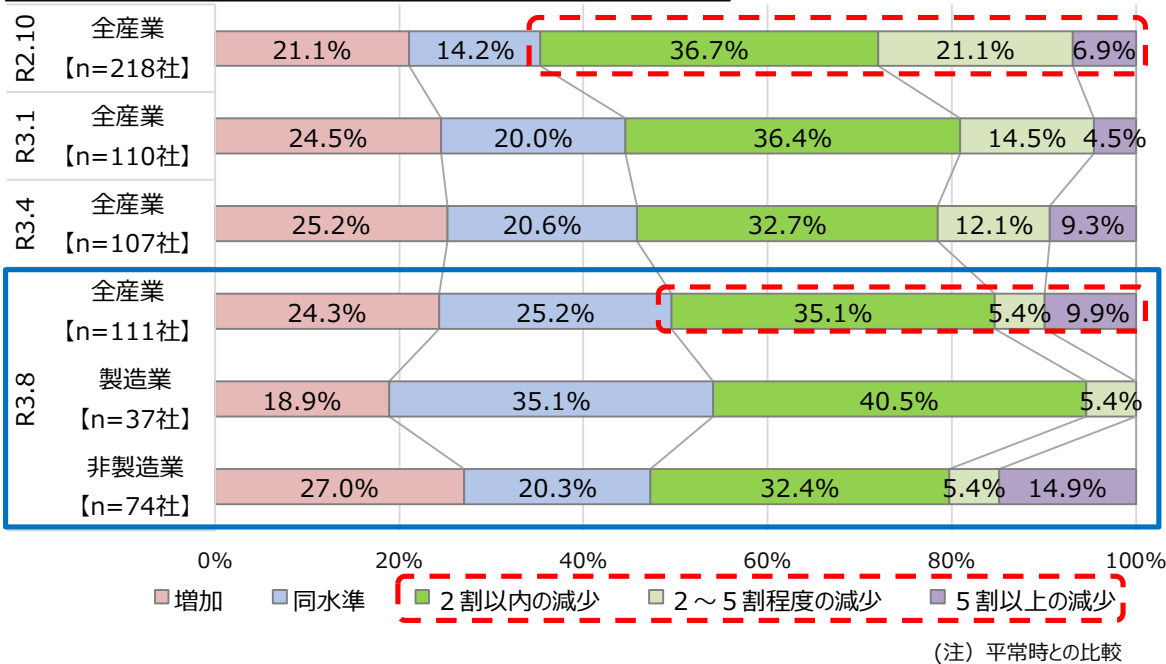
- 新設住宅着工戸数をみると、持家が前年を上回っているものの、貸家、分譲が前年を下回っていることから、前年並みとなっている。

（主なヒアリング結果）

- 前年比で微増の着工戸数となっているが、一昨年水準の8割となっている。ローン厳格化や収入減で買えないといった話はないが、ウッドショックの影響で6月以降値上げしたため、5月に駆け込みが見られた。  
【建設業・中堅企業】
- 貸家建設について、感染症の影響でセミナーを開催できず、今期は動きがなかった。  
【建設業・中堅企業】

### Ⅲ. 新型コロナウイルス感染症による企業活動への影響（企業業績）

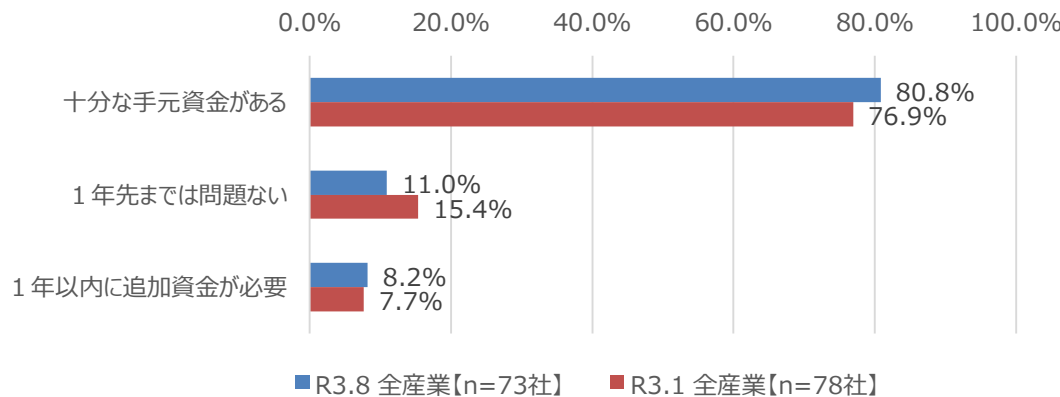
#### （1）企業の業績（売上高等への影響）



#### 企業の声（売上高等）

- ・ 巣ごもり需要やテレワークで家電全般に好調となっており、売上も前年比増。【家電・大企業】
- ・ 巣ごもり需要が続いており、スーパーなど小売店向けがけん引していることから、売上は前年を上回っている。一方、外食向けの動きは前期と同じく鈍い状況が続いている。【食料品・中堅企業】
- ・ 自動車向けの製品で、昨年5～7月を底に、工場稼働、売上等で影響を受けていたものの、昨年度下期から受注が感染症拡大前の水準に回復し、年度明けから生産量は落ち込むことなく横ばいであり特に影響はない。【自動車・同附属品製造・中堅企業】
- ・ 時短営業・臨時休館等を実施していた前年3～5月に比べると増加しているものの、感染症拡大前の一年比では客足が戻らず、売上が2割程度減少している。【百貨店】
- ・ 全館休業を余儀なくされ、営業日数が大幅に減少したことから、売上が5割以上落ち込んでいる。【宿泊・中小企業】

#### （2）企業における資金繰りの見通し



(注) 回答社数：73社（親会社等からの資金調達や不明と回答した企業を除く）

#### 企業の声（資金繰り）

- ・ 感染症拡大前の受注水準を維持し、収益も確保できていることから、資金繰りも問題ない。【建設・中堅企業】
- ・ 民間金融機関のコロナ融資（無利子・無担保）で運転資金を調達済みであるため、当面の資金繰りは安定している。【鉄鋼・中小企業】
- ・ 秋までに経済が通常に戻り、宿泊者数が回復しなければ、追加の資金が必要となる。【宿泊・中堅企業】
- ・ 雇用調整助成金等、現在は各種政策に支えられている面があり、今年には特に問題ないが、来年以降は不明である。【百貨店】

※東北財務局において、管内企業111社に対し、6月～7月中旬の間にヒアリングを実施したもの。